

議会だより



Contents

- | | | | |
|-------------------------|-----|--------------------------|-------|
| ● がんばる美浜びとインタビュー | 2 | ● 常任委員会の動き | 8～9 |
| ● 原子力発電所特別委員会 視察 | 3 | ● 9月定例議案一覧 | 10 |
| ● 町内現地視察・議員参加イベント | 4 | ● 議案賛否・討論概要・小浜病院組合 | 11 |
| ● 9月補正予算 | 5 | ● 一般質問 | 12～15 |
| ● 令和5年度決算報告 | 6～7 | ● 美浜中学校体育祭・編集後記 | 16 |

プロフィール

美浜町佐柿
松井 多栄子 (71 歳)

シリーズ 第11回

がんばる美浜びと

レガッタを通じての
地域交流!!

● 議会の課題

1. ローイングの
町の推進



Q: レガッタを始めたきっかけは何ですか?

A: 第1回美浜町民レガッタに「佐柿あめんぼう」で、出場する事になったのがきっかけです。

Q: レガッタ大会にはどのような意気込みで参加されていますか?

A: 常に勝ちにこだわって参加しています。その為に、日頃からトレーニングをしています。

Q: 普段の練習は何をしていますか?

A: チーム全体の練習は、町が決めた乗艇日に練習をしています。その他には週一回のエルゴトレーニングと毎日のウォーキングをしています。常に何かしら動いているので周囲からは、止まると死んでしまう『マブロ』と言われるています。(笑)

Q: レガッタをやっていて良かったことは何ですか?

A: ①第13回全国大会(東郷町)で、予選落ちして敗者復活戦で勝ち上がった際に当時の事務局の志賀さんから『凄いレースで鳥肌がたった』と言われたことが、今でも忘れられません。

②第2回全国大会(下諏訪)で、佐柿あめんぼうで3位になった後は、第19回全国大会(加古川)迄メダルには届かなかったのですが、第20回全国大会(豊岡)から実業団経験者の今安沙都子さん(和田)をチームに迎え、経験者の河下寿雄さん(佐田)や今安宏行さん(和田)の指導により準優勝することが出来ました。その後、3年連続優勝は最高の思い出です。

③全国優勝した際に、山口前町長から、『多栄子よ頑張った』と、満面の笑みで褒めて貰ったのも良い思い出です。

④約20年前に全国大会で下諏訪の人と知り合い、その後御柱祭りに2度招待していただき、地元の人と一緒に参加したり、昨年下諏訪で開催された大会には、応援に来てくれて、今でも交流が続いているなど、沢山あります。

Q: 『につかぽっか』から『ドリーム』にチーム名を変更した理由は何ですか?

A: につかぽっかは、娘の同級生が集まって作ったクルーで、私は助っ人で漕いだのがきっかけで、現在に至っていますが、今は娘と私だけになりチーム名の由来も答えられないので、今回からチーム名を変更しました。

Q: ドリームにした由来は何ですか?

A: チームメンバー各自、町民レガッタに優勝して全国大会行きたいとか、全国大会で決勝に進出したい、メダルを取りたいなどそれぞれが夢に向かって努力する事でドリームにしました。

Q: 今後の目標はありますか?

A: 出来るだけ長く現役を続けられるように、日頃のトレーニングを頑張りたいと思います。

Q: 最後に何かありますか?

A: 町民のレガッタに父、私、娘の3代で関わって、71歳になる今も現役でいられるのは、美浜町民レガッタが毎年開催されるおかげと感謝しています。

原子力施設等視察



去る9月30日から10月2日の間、原子力発電所特別委員の10名と議長、副町長にもご同行をいただき、原子力関連施設等の視察研修を行いました。

1日目は島根原子力発電所内を視察しました。

島根原子力発電所2号機は、今年12月の再稼働を目前に最終整備を行っています。3号機は改良型新型炉で13年前の東日本大震災の年、運転間近のところまで停止しています。今回その3号機の普段は入ることのできない格納容器下部にまで入室させていただき、貴重な体験をさせていただきました。

2日目は佐賀県玄海町議会を訪問しました。

玄海町は今年5月に原子力発電所立地自治体として初めて、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に向けた文献調査を受け入れました。その経緯として、町民の3団体から推進の請願書が提出さ

れ、反対の請願書がなかったことから、受け入れる決断をされたとのことでした。全国的に最終処分場誘致の機運が高まらない中避けては通れない問題であり、原子力発電所を立地している自治体としても推進することが必要であり決断をした。以上のことで、他の立地自治体も文献調査を積極的に受け入れるべきと発言されていました。

3日目は佐賀県糸島市にある水素エネルギー製品研究試験センターを訪れました。

ここでは次世代エネルギーの水素を活用するに当たり、タンクなどの材料の安全性を確認するための研究をされており、この水素活用は地球上に無尽蔵にあり排出されるものは水であり、地球温暖化対策に大変有用なエネルギーとして期待されています。

大変有意義な視察研修で今後の議会活動に活かしていきたいと思っています。

町内現地視察

トマト生産出荷拠点施設

Tomato LABO Fairy Bell



(株)無限大 木子社長の「毎日が実験です」というチャレンジングな説明がとても印象的であった。

令和5年度スマート施設園芸推進事業補助を受けた(株)無限大様の第2弾トマト生産出荷施設です。敷地面積8,657㎡、「一次育苗施設」「生産施設」「集出荷施設」からなり、地球環境・作業環境・生産性・省エネに配慮し、現方式を改良した低段・密植・通年栽培に挑戦され、多くの新技術が織り込まれています。

美浜町公設塾

放課後教室サン



FoundingBase (委託会社) の責任者より、これまでの活動経過と今後の計画について、熱い説明を受けた。

ひと・空間・コンテンツ創りをめざす「みはまシナプスプロジェクト」。その第一弾として昨年10月に郷市の空家を活用し開設されました。今年度は「学びと挑戦を育む」をテーマに小中学生を対象に活動中です。来年度は、近くに「にぎわい交流センター」が新設され、更に発展的に継続・展開される計画です。期待を込めて、注視・支援していきましょう。

議員参加のイベント

消防操法大会



第26回美浜地区自衛消防操法大会が、8月25日に美浜消防署消防訓練場で開催されました。今回は美浜町内の地域・事業所から計19チームの参加があり、大会初となる小学生チームの参加もありました。今回、参加したことにより防火活動に対する意識の高揚に繋がったことを、美浜町の防災に関する活動に活かします。

全国市町村交流レガッタ



第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会が、9月7日～8日の2日間の日程で開催されました。全国24市町村から6部門にエントリーした90クルーによる6部門で熱戦が繰り広げられ、美浜町からは6クルーが参加しました。議員クルーは残念ながら、決勝レースには出場出来ませんでした。市民と交流が出来たことで頂いた意見を活動に活かします。

民宿等活性化事業 5260万円

新幹線開業効果を促進するため民宿等のリニューアルや設備投資を支援。

一般枠

対象者：町内で旅館民宿ホテルを運営する事業者及び許可を得て運営予定の事業者

補助率：2/3

補助上限：1000万円（県1/2 町1/2）

補助件数：4件

新規開業枠

対象者：町内で旅館民宿ホテルを運営予定の事業者

補助率：2/3

補助上限：2000万円（県1/2 町1/2）

補助件数：1件

若狭湾サイクリングルート整備事業 120万円

若狭湾及び三方五湖周辺のサイクリングロードを整備し観光化を図る。

三方五湖ゾーン活性化事業 246万円

観光客のためデジタルサイネージの設置して地域の活性化を図る。

若狭美浜観光PR事業 200万円

旅館・民宿の事業者が町のロゴマークを活用した媒体を制作するための費用を支援。

補助対象者：町内で旅館民宿や簡易宿所、ホテルを運営する事業者。また今後許可を得て同施設を運営予定の事業者（民泊は含まない）。

補助対象事業：町のロゴマークを活用した媒体の制作費（ユニフォーム、箸袋、暖簾、パンフレット等）

補助率：2/3（上限10万円）

補助件数：20事業者

おもてなし街道魅力アップ事業 344万円

町内の道路周辺の景観を良くするための整備工事や補修工事。

北前船日本遺産

活用事業

282万円

◎北前船寄港地フォーラムへの参加

開催時期：令和6年11月21日～23日

開催場所：石川県、福井県

*11月23日に美浜町内で現地見学を開催予定

・日本遺産PR媒体の制作（チラシ・ポスター等）

・北前船日本遺産推進協議会HPへの掲載



すみずみ子育てサポート事業 199万円

家庭で一時的に育児を行うことが出来ない場合に一時預かりを行い負担の軽減を図る。

【一時預かり】

・一時預かり専門託児所せら

・キッズルームわくわく ・敦賀シルバー人材センター

【家事支援】

・美浜町社会福祉協議会

放課後子ども教室

トライアル事業

36万円

放課後の子どもの安全・安心な居場所を提供。

対象者：美浜東小学校に通う児童

内容：体験活動や地域住民との交流活動

五木ひろしふるさとマラソン

準備事業

586万円

・エントリー関連業務委託

・Tシャツデザイン委託

・大会冊子印刷製本費

美浜・五木ひろし

マラソン記念事業

372万円

・コンサート開催補助

令和6年度一般会計
9月補正予算

6億2629万円

（補正後の予算総額97億8140万円）
【そのうち財政調整基金積立金3億7400万円】

冬にそなえて 除雪対策

除雪作業委託費

5900万円

凍結防止剤散布委託料

420万円

除雪対策費

8143万円

大雪は忘れた頃に
やってくる

産業育成

新規就農支援事業

新規就農者の所得補償や研修する予定者に対し支援。
美浜町農業人材育成拠点施設で研修する新規就農予定者。

990万円

次世代型人材投資事業（経営開始型）
新規就農者育成総合対策（経営開始型）
青年就農給付金（町単）

補助対象者：3名
補助対象者：1名
補助対象者：1名

儲かるふくい型農業総合支援事業

園芸産地育成や水田園芸の拡大、スマート農業や
雇用導入による水田農業の規模拡大等への支援

3051万円

水田支援：コンバイン、トラクタ、ドローン 各1式
園芸支援：白ネギ防除機、調整機 各1式

園芸育成支援

新規就農者等を育成・確保するため
就農定着用リースハウスの整備

8257万円

きゅうりハウス整備（河原市地係） 5棟 1500㎡
いちじくハウス整備（和田地係） 4棟 1382㎡

中山間地総合対策支援事業

中山間地の担い手の機械化、営農継続支援等、
作業の効率化や規模拡大を図る経営安定化支援

1951万円

担い手支援：トラクタ、コンバイン 各1式
営農省力化支援：トラクタ、ドローン、ラジコン草刈り機 各1式

スマート施設園芸拡大推進事業

トマトの周年栽培を行い産地化促進及び地域
園芸の拡大を図るため大規模ハウスを整備

1億5749万円

高度環境制御栽培トマトハウス（興道寺地係）
9連棟 4050㎡

意欲あるふくいの畜産支援事業

自給飼料生産拡大に係る機械化の導入支援

2340万円

・ベールグリッパ、中型ロールベアラ、グレイタスローダー 購入
・トラクタ、グレイスローダー、ラップマシーン、ホールフロップ収穫機、播種機等

若狭牛安定供給体制構築事業

若狭牛の生産拡大と畜産農家の収益向上を計る
和牛子牛の導入（9頭）

259万円

和牛子牛の導入（9頭）
28万8千円×9頭

○総務費 町民の生活にかかわるお金
(21.9%) 28万3383円
○民生費 福祉等にかかわるお金
(18.5%) 23万9294円
○衛生費 医療や保険、環境にかかわるお金
(15.5%) 20万691円
○農林水産費 農業、水産、林業などの振興
(6.3%) 8万1723円

○商工費 観光や商工などの振興
(7.9%) 10万2321円
○土木費 道路や河川、
まちづくりにかわるお金
(10.5%) 13万6100円
○教育費 学校や文化にかかわるお金
(9.9%) 12万7947円

○消防費 消防施設や消防団にかかわるお金
(3.2%) 4万2268円
○公債費 借りたお金の返済や利子に払う
お金
(4.8%) 6万1839円
○その他 議会費や労働費など
(1.5%) 1万9616円

町民1人あたりにすると使ったお金は**129万5182円**です。

※町の人口8720人
(令和6年9月1日現在) で計算

美浜町の財政状況は健全です！

1 財政力指数

1に近いほど(あるいは1を超える
ほど)財政に余裕がある。

R3	R4	R5
0.797	0.905	1.044

2 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標。
低いほど余裕がある。

R3	R4	R5
78.1	75.5	69.1

3 実質公債費比率

単年度の借金返済額の割合で
早期健全化基準は25%以上。

R3	R4	R5
8.3	7.6	8.4

4 将来負担比率

自治体が将来的に負担する借金の
比率で早期健全化基準は350%以上。

R3	R4	R5
65.6	66.7	53.3

令和5年
健全
美浜町

生活密着
生活者目線

生活と直結する主な施策の成果

令和5年度の歳入決算額は123億5679万円で前年度に比べ5億4515万円減収になりました。町税の収入済額は53億3786万円で前年度に比べ5億2691万円の増収でした。町内企業の設備投資が増加したことにより固定資産税が5億2257万円増加したことが要因です。

公共交通

公共交通運行事業(チョイソコ) **5538万円**
福鉄バス運行事業 **2442万円**

公共交通機関利用促進事業 **403万円**
乗ろうよ!小浜線利用促進事業 **284万円**

新幹線からの2次交通。住民の足を守る利便性。

子ども子育て支援

子育て世帯生活支援

特別給付金給付事業 **331万円**

低所得者子育て世帯への給付(対象制限あり)

子ども医療費助成事業 **3125万円**

18才までのこども養育者に対し子どものかかった医療費全額助成

すみずみ子育てサポート事業 **723万円**

家庭で一時的に育児を行うことのできない場合の一時預かり

利用実績:延べ8161時間 利用人数:1543人

出産・子育て応援交付金給付事業 **541万円**

安心して出産・子育てができるために妊娠時5万円出産時5万円支給

母子手帳交付時:73人 出産届時:53人

物価高騰に係る

子育て世帯応援事業 **1279万円**

子育て世帯を応援するため子供1人に対し1万円の「商品券」を発行

対象世帯:647世帯 児童数:1145人

児童手当支給事業 **1億1225万円**

【月額】0~3歳未満15000円

3歳~中学生10000円(第3子以降は15000円)

子ども・子育てサポートセンター運営事業 **668万円**

子育て中の親子に交流の場を提供

児童:延べ5065人 保護者:延べ4191人



高齢者支援

緊急通報体制等整備事業 **172万円**

独り暮らし高齢者が安心して暮らせるよう緊急自動通報装置を貸与し、毎月コールセンターから電話による声掛け

家族介護用品支給事業 **676万円**

65歳以上の高齢者を在宅で介護する家族の経済的負担を軽減するためおむつ、はくパンツ等を支給する

課税世帯:102人 非課税世帯:72人

老人保護措置事業 **958万円**

生活困難な高齢者をその状況に応じて養護老人ホームに措置

実績:「もみじの里」(小浜市)3名

「萩の苑」(敦賀市)1名

老人クラブ活動等社会活動事業 **339万円**

町内老人クラブ連合会の活動費の一部助成

敬老会助成事業 **758万円**

集落が実施する敬老会の一部助成

常任委員会の動き

9月定例会では予算決算常任委員会に議案16件、産業厚生常任委員会に5件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



予算決算常任委員会

議案第52号

令和5年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について

(総務費)

問 美浜町人材育成事業の内容は。

答 職級別の研修実施、自治研修所や先進地視察への職員派遣にかかる経費である。

問 大学との交流連携事業について、福井大学との共同研究の内容は。

答 シナプスプロジェクトに大学の先生に入っていたいただき、ワークシヨップ等を開催し、小学生がまちづくり提案を行った。



SYNAPSE

みはまシナプスプロジェクト

制作は、美浜町新庄出身のデザイナー 高木直也氏
(ペントアワード2023受賞)

問

省エネ家電買い替え促進事業は、継続的に取り組む必要があるが、今後をどう考えているのか。

答

事業開始より3年間、令和7年度までの事業と計画している。

(民生費)

問

地震の際の津波情報により新庄に避難したというが、防災マップ

プ等は津波を考慮しているのか。

答

防災マップについては、津波の高さに応じた対応を書き入れる等改良を施し、住民に対し説明していく。



問

子どものあそび場づくり事業及び子ども遊び場整備基金は、町内4か所にエリアを分けて整備するものですが、あそび場ができるまでのスケジュールは、どうなっているのか。

答

県の補助金の関係上、令和8年度末までに屋内あそび場を整備する予定。基本計画については10年間を計画期間としており、それ以外については関係課と財政状況を勘案しながら検討している。

(衛生費)

問

リサイクルプラザは今後も使用するのか。ガス化溶融炉を使用しないのであれば、いつまでも負担し続けるのはいかなるものか。

答

ガス化溶融炉は地元との協定期間終了後に解体する計画である。



(農林水産費)

問

「浅海増殖事業」と「漁礁機能回復事業」について成果はあるのか。

答

ウニは放流しているが、漁獲量は増えていない。令和6年度にはウニ放流を一時中断した。魚礁機能回復事業はウニだけでなくア

ワジ、サザエ等にも効果が見込まれるので継続実施とした。



(商工費)

問

キッチンカーを美浜駅周辺で見かけないが、事業者は利用料金が低いと言うが、どうか。

回答

道の駅は利用料が高いとの意見を事業者から聞いている。支援した事業者には安くできるよう、道の駅運営事業者と協議を進めている。

産業厚生常任委員会

(1) 議案第68号

美浜町空家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

民法の一部改正により、相続人不存

在に係る相続財産の管理人の名称が変更されたことから、本条例において引用する名称を改正前の管理人から改正後は清算人に改正するというのが主な改正内容です。

(2) 議案第69号

美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

現行国民健康保険法第9条に定める被保険者証の交付及び返還に係る規定が削除されるため、引用条項の改正と被保険者証の返還に係る規定を削除するというのが主な改正内容です。

(3) 議案第70号

美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例の題名変更に伴う引用規定の整理、健康保険証の廃止を踏まえ、医療機関における受給資格の確認方法に関する規定の改正、医療費助成の申請期限が他の医療費助成制度と差異が生じていたことから、申請期限の統一を図るため、現行の6か月から2年に延長するというのが主な改正内容です。

(4) 議案第71号

町道路線の認定について

宅地分譲地整備に伴い、延長126メートルを金山13号線の町道路線として認定したいというものです。

(5) 請願第1号

化学物質過敏症に関する請願について

化学物質過敏症に関する知識が社会に普及されていないため、知識を普及させ、化学物質過敏症について社会的対策を行う必要があるとして、啓発活動など6項目の請願事項が明記されたものです。

※委員会では、請願者団体である福井カナリアの会(会長:松井明彦さん 美浜町松原)により請願説明を受けました。質疑終了後、委員会採決を行い、全員賛成で可決され、本会議においても全員賛成で請願は承認されました。

常任委員会の所管事務調査

所管事務調査とは、その委員会が所管する事務について自主的に行う調査です。

地方自治法第109条第2項に、「常任委員会は、その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。」と規定されています。常任委員会の発議により、町政の各分野における課題の解決に向けて、調査を行い、町長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を積極的に提案するものです。

現在、総務文教常任委員会では空き家対策事業について、産業厚生常任委員会では美浜町福祉支援センター「あいぱる」の事業について、所管事務調査を行っています。

昨年は集落元気プラン推進事業について所管課のまちづくり推進課から詳細説明を受け、各区の取組みとこの事業がどの様に町民に寄与しているのかを確認しました。

令和6年度 第4回 美浜町議会定例会 議案

令和6年第4回美浜町議会定例会期間：令和6年9月2日～9月26日

議案番号	件 名	委員会付託	議決結果
議案第51号	令和6年度庁舎改修事業美浜町庁舎改修（第2期）工事請負契約について 庁舎改修事業美浜町庁舎改修（第2期）工事請負契約に関し必要事項を定める	—	可決
議案第52号	令和5年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 123億5679万6千円 歳出総額 112億9408万円	予算決算	可決
議案第53号	令和5年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1億740万円 歳出総額 1億740万円		可決
議案第54号	令和5年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 11億6163万4千円 歳出総額 10億7104万2千円		可決
議案第55号	令和5年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1億5375万8千円 歳出総額 1億5259万7千円		可決
議案第56号	令和5年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 12億3664万3千円 歳出総額 10億9388万円4千円		可決
議案第57号	令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 2億3807万3千円 歳出総額 2億3787万7千円		可決
議案第58号	令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1億8137万8千円 歳出総額 2億2762万8千円		可決
議案第59号	令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 6億5987万6千円 歳出総額 6億3432万7千円		可決
議案第60号	令和5年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 5億4630万1千円 歳出総額 5億4481万5千円		可決
議案第61号	令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1億4991万3千円 歳出総額 3422万9千円		可決
議案第62号	令和5年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1億7629万7千円 歳出総額 1億780万9千円		可決
議案第63号	令和5年度美浜町上水道事業会計決算の認定について 収益的収入 1億7004万4368円 収益的支出 1億5308万332円 資本的収入 1億6895万3000円 資本的支出 1億9946万2597円		可決
議案第64号	令和6年度美浜町一般会計補正予算（第3号） 6億2629万3千円増額		可決
議案第65号	令和6年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 1963万7千円増額		可決
議案第66号	令和6年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第2号） 2486万9千円増額		可決
議案第67号	令和6年度美浜町上水道事業会計補正予算（第1号） 700万7千円増額		可決
議案第68号	美浜町空家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 民法等の一部を改正する法律の施行による組織及び運営に関し必要事項を定める。	産業厚生	可決
議案第69号	美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行による組織及び運営に関し必要事項を定める。		可決
議案第70号	美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行による組織及び運営に関し必要事項を定める。		可決
議案第71号	町道路線の認定について 町道路線認定に関し必要事項を定める。		可決
請願第1号	化学物質過敏症に関する請願について 化学物質過敏症に関する知識が社会に普及していないため、知識を普及させ、社会的対策を行う必要がある。（請願者 福井カナリアの会）		採択
同意3号	美浜町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	—	可決
同意4号	美浜町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		可決
発議2号	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書（案）		可決

※略称 ＜予算決算＞…予算決算常任委員会 ＜総務文教＞…総務文教常任委員会 ＜産業厚生＞…産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対△欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。
※議長（川畑忠之）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	松下	嶋元	山口	藤本	竹仲
議案第52号	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	—	○
議案第69号	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	—	○
議案第70号	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	—	○

討論概要

〔9月定例会〕
議案第52号

令和5年度美浜町一般会計
歳入歳出決算の認定につ
いて

●反対討論

財政力指数や経常収支比率の値を見ても、財政状況には余裕がある。財政状況に余裕がある時に、余るお金を貯めておくだけで良いのか。

町政に求められるのは、財政状況に余裕がある時に、こういう福祉施策を打ち出すかということである。

また、個別事業については、「エネルギー環境教育体験館『さいばす』の運営事業」、「健康楽膳拠点施設『こるぽ』の運営事業」、「美浜町レイクセンター、電池推進遊覧船に係る事業」、「道の駅に係る事業」など、そもそも予算の執行を認めていない事業が多くあるので本議案を認めることはできない。

（河本猛）

議案第69号

美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第70号

美浜町母子家庭等医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

●反対討論

マイナナンバーカードと健康保険の被保険者証が一体になることで、現行の健康保険証を廃止するという点には、不安の声が多くあがっている。

全国18の新聞社が実施した合同アンケートでは、現行の保険証（制度）を残して欲しいという声が8割以上になっており、この8割以上の声を無視して保険証の廃止に踏み切る法改正を行ったのは、時の政府の横暴だと思う。

私は、現行の保険証を残し、マイナ保険証と選択制にするのがベストだと考えるが、合同アンケートにおいても選択制を求める声が多数であった。

私は、住民の防波堤として、保険証の廃止を認めることはできないので、本議案についても認めることができない。

（河本猛）

新しい組合長のもと、

地域医療の更なる充実を



公立小浜病院組合議会

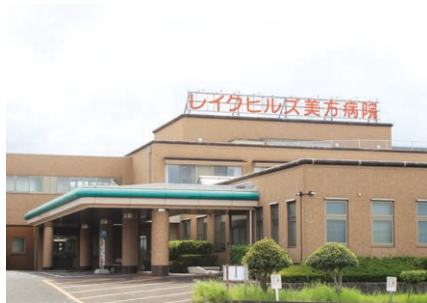
小浜市長の任期満了に伴う小浜市長選挙が行われ、新しく杉本和範市長が誕生しました。市長は公立小浜病院組合の組合長も兼任し、今後は組合管理を担うこととなります。小浜病院組合は、小浜市・おおい町・若狭町そして美浜町の1市3町を管轄する病院組合で、公立小浜病院、介護老人保健施設アクール若狭、レイクヒルズ美方病院の3施設を組織しています。

8月に行われた組合議会で令和5年度の決算報告が行われ、レイクヒルズ美方病院は、繰入金増額（美浜町繰入金1億6千66万円、若狭町2億56万円）とコロナ5類移行で患者数も増え、収益的収支は黒字決算となりました。

レイクヒルズ美方病院は、令和6年度から9年度の中期経営計画（病院経営強化プラン）を実行し、今後も地域医療の責務を果たさなければなりません。



公立小浜病院



レイクヒルズ美方病院

一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

9月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、聞いていただきました。



たかはし おさむ 議員
高橋 修

① 町の観光政策について 美浜の観光の魅力は何か

問

令和3年の私の質問に
対し海・山・川・湖等
の自然の恵みを短時間の移動
で体感できる自然環境が魅力
であるという答弁であった
が、現時点ではどう捉えてい
るか。

観光誘客 課長

美しい海、三方五湖、
それらに調和した田園
と山々、そして温かい
人情である。中でも三方五湖
は、卓越した観光資源であり、
エリア観光の核と捉えてい
る。

意見

前回とほぼ同じ答弁だ
が、自然環境や生活ス
タイルの変化に連れ顧客目線
の魅力も変化する。常にウ
オッチ願いたい。

② 町の観光振興の 課題は何か



観光誘客 課長

①首都圏や新幹線沿線
の認知度が低い。②二
次交通が弱い。③海鮮
店等の海産物提供体制が弱い
ことであり改善に取り組む。
住んでよし訪ねてよし
と言う。住人がよしと
感じる地域に人は訪れる。経
済性が大切なことは理解する
が、遊歩道・トイレ・駐車ス
ペース・腰掛など住民が自然
に親しめる身近な整備が必要
だと思う。

意見

③ 観光プロモーション は?

問

新幹線開業と関連事業
が一段落した現在、ど
のようなプロモーションをし
ているか。

観光誘客 課長

アドバイザーの提言の
もと①中長期視点での
施策展開②本物志向客
の誘客③ストーリー性ある質
感を統一した情報発信④ブラ
ンド化の構築を柱にホーム
ページ刷新・SNSの開設等
を行い、出向宣伝等を行って
いる。

意見

方向性は理解するが、
住民に対するそれらの
説明が十分でない。住民に対
するプロモーションをしっか
り行い、住民の理解を得て、
町が一丸で推進するべきと思
う。

④ モデルルートの 強化を!

問

来町客を増やすため、
宿泊を含む魅力ある拠
点を繋いだモデルルートの設
定とPRが効果的だと思うが
どうか。

観光誘客 課長

周遊滞在型観光の促進
等のため各種のメ
ニューを設定してお
り、今後も引き続き取り組ん
でいく。

意見

おすすめルートを複数
設定し、町民を含めた

全員がその内容をしっかり理
解して進めることが大切だと
思う。



⑤ 郷土資料館の 整備について

問

令和4年に一般質問を
した際、当時の教育長
はその考えはないと答弁をさ
れたが、北前船の認定自治体
等が加わった今どう考える
か。

生涯学習 推進課長

ヒストリーゾーン全体
を博物館と捉える令和
4年の考え方に変更は
ない。

意見

美浜町はどんな町か。
町外者には勿論町民に
も全体が見えにくい。このこ

⑥ 学習館の整備に ついて

問

令和4年にも一般質問
したが、暮らしや産業
等の時代の変化に対応した先
進の学習施設が必要ではない
か。

生涯学習 推進課長

シナプスプロジェクト
を始動し、交流セン
ターも整備する。なび
あすや歴史文化館での活動も
成果が出ており、より効果的
な連携を進めたい。

意見

現在の活動は評価する
が、それらを継続すれ
ば、町の新たな時代が切り拓
けるのか疑問である。先進的
な機材を備え、時代を先取り
すべく魅力ある学習環境を整
備し続ける必要がある。



こうもと たけし 議員
河本 猛

① 水上バイクやレジャーボートを規制する条例がでないか！

答 条例制定が難しいことから三万五湖水面等利用協議会を設立した。

問

議会と語ろう会で、水上バイクやレジャーボートを規制する条例ができないか、旧北小学校の裏側の道路から水上バイクを降ろしたり、バーベキューをしたりして、危険を感じているという地域課題を伺った。

この件については10年以上前から同様のことを聞いており、以前と比較してどのような対策を行ってきたのか、その経過を伺う。

住民環境課長

久々子湖の水上バイク等に関する対策については、県の条例制定が難しいことから、誰もが安全安心、快適に湖の利用ができ

るルール作りを目的として、令和3年11月に美浜町、若狭町地元区、漁協、マリン事業者、福井県、福井県警で構成する三万五湖水面等利用協議会を設立した。その後、令和4年8月に、徐行エリアや航行自粛エリアなどの設定など、自主規制を主体とする三万五湖水面等利用ルールを策定した。



また、水上バイクの乗り入れが多かった。久々子湖の西側の湖岸道路では、令和2年度から計画的に防護柵の設置を進めており、警察による湖周辺のパトロールを随時実施していただいている。このように協議会が中心になり、対策に全力で取り組んでいる。

意見

部活などで日々練習している学生や社会人、周辺住民のことを考えると、接触事故などが起こらないように厳しい規制やより強固な対策を講じていくべきだと思う。

② 現行の健康保険証が廃止。資格喪失や無保険者扱い、医療費負担が大きくなることはないか！

答 資格確認書は現行の紙の保険証の代わり。医療機関の窓口でも、資格喪失や無保険扱いにはならず、医療費の負担が大きくなることもない。

問

12月に現行の国民健康保険の保険証が廃止さ

れるが、現時点で国民健康保険加入者の約26%（447人）がマイナ保険証を持っていない。マイナ保険証を持っていない人が、現行の紙の保険証の有効期限が過ぎたという場合、どうやって医療機関を受診すればいいのか。



住民環境課長

紙の保険証の有効期限が過ぎた場合については、紙の保険証に代わる資格確認書が交付され、それを持参して医療機関を受診することができる。

問

国民健康保険税を適切に払っている人が、医療機関の窓口で、資格喪失や無保険者扱い、医療費負担が大きくなるようなことはな

いか。

住民環境課長

資格確認書は現行の紙の保険証の代わりであり、医療機関の窓口でも、資格喪失や無保険扱いにはならず、医療費の負担が大きくなることもない。

意見

現行の保険証の廃止はマイナンバーカードを強制的に作らせようとするもので、国の横暴だ。紙の保険証の廃止に伴う資格確認書の発行という苦しい紛れの代替措置をするぐらいなら現行の保険証を残して、現行の保険証とマイナ保険証のどちらかを選択できるようにするべきだ。



一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

9月定例会では4人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、伺いました。



議員 上道 正二

① 空き家の原因、対策課題は

問 空き家が増えている原因をどのように考えているのか。

土木建築課長 国土交通省が実施した令和元年度空き家所有者実態調査の報告書によれば、空き家の発生要因の約55%が相続となっている。

問 原因についての対策課題をどのように考えているのか。

土木建築課長 空き家については個人の財産であり本来は所有者が適正に管理するべきもの、長年放置された老朽空き家の危険性や周囲に及ぼす悪影響を認識されない所有者が多く見受けられ、特に県外など遠方にいる所有者に窮状を理解いただき、意識を変えることが必要であると考えている。

問 町内に現在、倒壊等の恐れがある特定空き家を、教えていただいた限りでは32件あったと思う、解体を促進するための対策はあるのか。

土木建築課長 空き家の解体を促進させるための対策として町では平成29年に美浜町老朽危険家屋等解体撤去事業補助金交付要綱を制定し、解体撤去にかかる費用の3分の1以内で、特定空き家は上限50万円、準特定空き家は上限30万円の補助を実施してきた。また、令和5年度には、

空き家の解体撤去、さらに促進するため、令和7年度末までの特例措置として、特定空き家には空き家は上限100万円、準特定空き家は上限60万円と、補助限度額を倍増するとともに、倉庫から新たに上限60万円の補助対象とするなど、支援を強化している。

問 これまで対策でどれだけの利用実績があったのかを伺いたい。

土木建築課長 これまでの、美浜町老朽危険空き家等解体撤去事業補助金の利用実績は、特定空き家が11件、準特定空き家が4件、倉庫蔵等が1件で合計16件となっている。



問 美浜町では、行政代執行の実績はあるのか。

まちづくり推進課長 行政代執行の実績はない。

問 特定空き家にならない空き家の活用について伺う。

まちづくり推進課長 町では空き家の有効活用による街への定住促進と、地域の活性化や集落環境の確保を図ることを目的に、空き家の家賃補助、

空き家の購入補助、空き家のリフォーム補助を実施し、空き家の活用促進に努めているところである。また、町のホームページにて、空き家情報バンクによる物件の情報の提供や、空き家マッチングツールの実施を通じて、空き家の流通化にも努めている。これまで空き家情報バンク登録件数72件のうち、利用に至った件数が46件、空き家マッチングツールによる照会数107件のうち、利用に至った件数が34件あり、町では空き家を重要な地域資源として有効活用すること、空き家の適切な管理を促し、資産価値の維持や居住環境の向上に繋がるものと考えている。



② チョイソコの土日祝日の増便は

問 チョイソコの運行について、土日祝日は朝の定期便がない。9時からの予約分になっていた。個人医院は土曜も診察しており、土曜日に診察に行く方もおられる。また、学生は部活補習等があり、朝早く登校したいと思っている。これらは土日祝日に関係なく運行が必要であると思うが。

住民環境課長 は、以前のコミュニティバスでの利用が少なかつたことから、それらの状況等を踏まえ、美浜町地域公共交通会議において協議を重ねた結果、現行の運行体制となった。





まつした てる ゆき 議員
松下 照幸

① 使用済燃料の 県外搬出

問 原発のプール内に溜まり続ける使用済燃料が「核燃料サイクル破綻」により県外へ搬出できず、プールが満杯に近づいている。再処理工場や県外中間貯蔵施設に搬出できない要因をどのよう

に考えるか。

町長

安全審査に時間を要し、受け入れが実現していない。国が前面に立ち施設整備を進めるよう要望している。

② 乾式貯蔵施設 建設計画

問 関電は乾式貯蔵施設計画を美浜町議会に示した。プール内の使用済燃料を

サイト内に建設する乾式貯蔵施設へ搬出する計画である。保管期間も示さない。「使用

済燃料を再処理工場や県外中間貯蔵施設に搬出する」事が、福井県の歴代知事が県民に約束してきたこと。

「そうはならない」と確信できるか。

町長

関電は使用済燃料の貯蔵容量を増やさないとしており、乾式貯蔵施設に搬出することで空いたプールのスペースは原則使用しないとしている。ロードマップが示す「継続して運転できる環境の整備」とは、使用済燃料が乾式貯蔵施設へ、中間貯蔵施設から再処理工場へ順次搬出される工程が機能することを言う。関電の説明に齟齬は無い。

③ 関電が語るサイト内乾式貯蔵施設の「意義」

問 乾式貯蔵施設は「中間貯蔵施設への搬出をス

ムーズに行うための設備」と述べている。プールから使用済燃料を乾式貯蔵施設へ搬出するが、空いたスペースに「3号機運転で生まれる使用済燃料を入れない」とも美浜町議会に説明している。

関電のこの説明をどのように受け止めるか。

町長

関電は、中間貯蔵施設は一時的な保管施設であり、中間貯蔵や最終処分場にはならないと明言している。

④ 高燃焼度燃料と その使用済燃料

問 関電は3号機に高燃焼度燃料を導入している。その使用済燃料は再処理

工場の再処理条件に合わない。プールでの冷却期間も長く、再処理工場への搬出は困難。

町長

高燃焼度燃料の使用済燃料について、その搬出をどう考えるか。

高燃焼度燃料は、使用済燃料の低減を目的とし、約3割がプールに保管されている。全ての使用済燃料が安全かつ円滑に再処理されると考えている。

⑤ 再処理工場や中間貯蔵施設へ使用済燃料を搬出できない！

問

県外中間貯蔵施設を建設しそこへ使用済燃料を搬出すると関電は約束したが、不可能である。それを見込み、関電は乾式貯蔵施設を企画した。乾式貯蔵施設とプール内の使用済燃料は「燃料」としての名前を剥奪され「核のゴミ」となる。

町長

国は核燃料サイクルを基本とし、全ての使用済燃料を再処理する方針。国策として着実に取り組まれると理解する。

⑥ 乾式貯蔵施設に 関する本質的問題

問

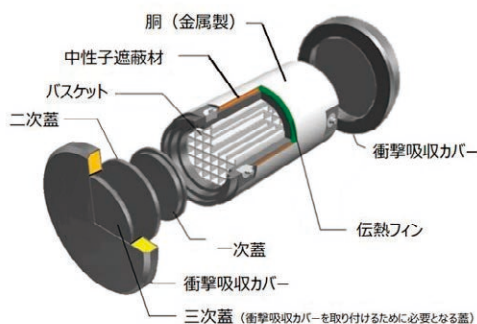
乾式貯蔵リスクの本質は、古い原発を60年を超えて運転するリスクと、ホットな使用済燃料をプール内に供給し続けることにある。ホットな使用済燃料は、大きな電力を使って水で冷却し続けなければ溶融する。半島の先端に建つ福井県内の原発群は、地震等により商用電源が断たれるリスクが高い。このリスクをどう町民に知らせるか。

町長

原子力規制委員会を中心に、そのような事象を発生させないよう新規制基準に基づいて取り組んでいる。「核のゴミ」については、仮定の質問であり、お答えは差し控える。

意見

使用済燃料が全国の原発内に貯まり続けているのは事実。「もんじゅ」が廃炉となり、核燃料サイクルの破綻も事実。原子力防災訓練は「事故を仮定」して行う。適切な仮定こそが、適切な対策を生み出す。町長は、そこを理解し、説明責任を果たすべき。



美浜中学校体育祭



みんなで盛り上がった 最高の祭



9月21日、今夏の超猛暑とは裏腹に、曇り空と爽やかな風が吹く絶好の天気となり、美浜中学校の体育祭が開催されました。今年は青組と赤組の2チームに分かれ、各学年リレーや趣向を凝らした競技にはチームワークが見えました。色別選抜リレーや綱引きは迫力があり、午後からの応援合戦は3年生のリーダーシップのもと、練習の成果が伝わり、完成した団結パフォーマンスに、会場からは盛大な拍手と歓声が沸き上がりました。



編集後記

◇◇◇◇◇
今年は昭和99年。

昭和99年9月9日9時9分、何か起こりそうと一部言われましたが何事もなく9月も過ぎ去りました。

9月30日、10月1日、2日と原子力発電所特別委員会が島根原発、玄海町役場、糸島市と視察に行ってきました。

島根原発は国産第一号として約40年間にわたり運転。玄海町は最終処分場の文献調査に手を挙げ、糸島市は水素エネルギー製品研究試験センターがあり、あらゆる水素関連製品の耐久試験を行っています。

(上道記)

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】 辻井雅之

【副委員長】 幸文佑馬

【委員】 藤本 悟・松下 照幸

高橋 修・上道 正二

兼田 和雄